

(財)岐阜県産業経済振興センターにおける産学官連携の取り組みについて

平成 16 年 4 月 6 日

(財)岐阜県産業経済振興センター

当センターでは、岐阜県経済を 21 世紀型産業構造に転換すべく、大学や試験研究機関等の有する技術シーズを新規創業や既存事業の活性化に活用するための以下のような産学官連携の取り組みを進めている。

1. 県内の大学等との連携

(1) 岐阜大学との連携

当センターが岐阜大学から業務委託を受け、以下を内容とする市場調査を実施。(別添「岐阜大学知的財産市場調査報告書」参照。)

岐阜大学の技術シーズに対するアンケート調査の実施

岐阜大学が保有する 5 つの具体の技術シーズを県内中小企業等約 5,000 社に対して紹介し、それらの技術シーズに対する関心の有無、当該シーズを利用した事業化の意向等につき、アンケート調査を実施。回答企業 444 社中、5 つの技術シーズのいずれかに関心が「ある」または「現在はないが将来はある」とする企業は約 1 / 3 の 147 社。

企業ヒアリングの実施

上記アンケート調査において技術シーズに関心があると回答した企業から 32 社を抽出し、詳細なヒアリングを実施。この 32 社中、事業化計画がある企業は 8 社。

企業説明会の実施

アンケート調査において技術シーズに関心があると回答した企業を対象に、当センター主催で岐阜大学による説明会を実施。21 社が参加し、技術の具体的内容等につき、活発な質疑が行われた。

本業務委託による紹介を受け、岐阜大学が持つ技術シーズの事業化の可能性を検討するに至った企業あり。

当センターとしては、今後とも引き続き岐阜大学の持つ技術シーズを県内企業に紹介し、それを活用した事業化の支援等を行うことを予定。

(2) 他の大学等との連携

岐阜薬科大学との連携

- ・県及び県内銀行による産学官連携やベンチャー企業支援の取り組みについての説明、特許事務所所長による特許を意識した研究の重要性についての説明等を内容とする教職員を対象にした産学官連携セミナーを実施。
- ・学長との間で今後一層連携を進めることにつき合意したことを受け、今後、当センターとしては岐阜薬科大学との連携を深めていく予定。

岐阜工業高専

校長との間で今後の連携につき合意したことを受け、今後、当センターとしては岐阜工業高専との連携を深めていく予定。

2. グループ研究会

マグネシウム合金調査研究

東京大学先端科学技術研究センターが世界で初めて開発した新たなマグネシウム合金 MgSiX(従来のマグネシウム合金に比べて軽量で、強度、剛性、耐食性の面で優れている。)の実用化に向けて、同研究センター、岐阜県製品技術研究所及び県内企業5社の参加を得て、当センターに研究会を設置。この MgSiX を使用したボルトの試作に成功。(別添「マグネシウム合金研究会」参照。)

同研究会参加メンバーとしては、今後、市場の需要動向調査及び事業化に向けての製品実験を行い、3~5年後の製品化、市場参入を目指す。

当センターとしては、平成16年度においてもグループ研究会事業を実施する予定。テーマは現時点では未定(3~5テーマを公募の予定)。

3. 試験研究機関による技術シーズ公開セミナー

県内における新規創業やいわゆる第二創業の促進に向けて、岐阜県の公設試験研究機関が有する技術シーズを説明するセミナーを開催。3回のセミナーに延べ59社、65名が参加し、活発な意見交換を行うとともに、研究施設の見学等もあわせて実施した。(別添「試験研究機関技術シーズ公開セミナー」参照。)

当センターとしては、平成16年度においても本セミナーを2回実施する予定。

4. 岐阜県新工法・新技術の展示会への大学、研究所等の参加

県内企業と大手企業との取引拡大を目指すために当センターが開催した新製品や新技術の展示会において、県内企業以外にも、岐阜大学、岐阜県の3つの公設研究所及び岐阜県工業会が自らの開発成果計8件を展示し、その技術水準の高さをアピールするとともに、技術移転・事業化に向けての説明等を実施。(別添「岐阜県新工法・新技術展示会」参照。)

当センターとしては、県公設研究所や県工業会の参加を得て、同様の展示会を平成16年度においても2回実施する予定。

5. 機関誌「岐阜を考える」による情報提供

産学官連携の促進に向けて、当センターの機関誌「岐阜を考える」において、「知的財産」及び「バイオ」をテーマに取り上げ、県内企業等関係先に配布。今後、説明会等も実施する予定。

(1) 知的財産

大学の有する知的財産や他の企業等が持つ休眠特許の県内企業による活用、知的財産担保融資のあり方等に関し、現状と課題等について解説した論文等を掲載。(別添「岐阜を考える No.119 『知的財産』」参照。)

(2) バイオ

岐阜県内の研究機関、大学、企業が有するバイオテクノロジーに関する優れた研究開発の成果を紹介するとともに、バイオ産業活性化への取り組み事例等を掲載。(別添「岐阜を考える No.120 『バイオ』」参照。)

当センターとしては、平成 16 年度の「岐阜を考える」において、「燃料電池」をテーマに取り上げる予定(その他にも 1 テーマを予定)。

6 . 技術ニーズ研究会

県内企業が新規事業を展開する上で必要となる技術ニーズ等を調査し、その結果を試験研究機関等へ紹介する等の事業を、平成 16 年度に当センターとして新たに実施する予定。